

平成26年度 事業計画（案）

項 目	いただいたご意見・質問	対応・回答	実 施 案（ 修 正 版 ）
<p>1.依存症当事者及びその家族への専門的な相談、治療及び回復支援 （医療機関に入院および通院している薬物依存症者に対する当事者支援専門プログラムの試行実施を含む）</p>	<p>【意見】 ① 表現がわかりにくいところがあるので、表現を変更してはいいかがか。 「フィードバックカンファレンス」⇒（例）事例等共有のためのカンファレンス 「攻めの相談」⇒（例）積極的な相談 「入院SMARPPの更なる充実化」⇒入院SMARPPの更なる充実</p> <p>【質問】 ① 新設されるのは、ギャンブル依存症への相談対応のみか。薬物依存症への相談対応はどのようなになるのか。 ② コーディネーターの役割、立場について説明願いたい。 ③ 相談の対象者はどのようなになるのか。相談を受けている対象者やその家族等に、本事業や相談窓口について案内してもいいか。 ④ 府内の関係機関、関係団体等の情報の集約・リスト化について、どのような活用方法を考えているのか。 ⑤ 外来SMARPP実施について平成26年度中にチーム編成となっているが、稼働は27年度からか。入院についてはすでにプログラムを実施されていると思うが、その検討なども平成27年度からか。</p>	<p>【対応】 ① 変更して反映。</p> <p>【回答】 ① 新設するOACの「依存症相談窓口」では、薬物・アルコール・ギャンブル等の依存症の相談を受けます。当センターでは、これまでギャンブルに関する相談をお受けしていなかったため、「新設」としました。 ② 窓口対応・関係機関・団体との連携促進訪問・依存症者への継続的な面接・外来SMARPPプログラムの運営の軸になる予定です。 ③ 現在、家族教室などは行っておらず、受診のための相談等については受けられると思います。案内内容については事前にご相談をお願いします。 ④ リストを関係機関・関係団体等へ配布し、各機関・団体間で相談支援を行う際の参考資料及び連携促進のためのツールとして活用を考えています。 ⑤ 26年度中に最低1回は実施できるように準備中です。</p>	<p>『大阪アディクションセンター（OAC）』（仮称）の設立・運営 大阪府内のアディクションに関する情報収集と相談、普及啓発とさらなる人材の育成、プログラムの作成、研究等を行う。</p> <p>① 依存症相談窓口の設置 大阪府立精神医療センター医療福祉相談室において、依存症相談窓口を設置し、相談支援を行う。（ギャンブル依存症相談窓口については新設） コーディネーター、相談窓口担当が2～3名体制で相談を受ける。 コーディネーターが常駐する相談窓口開設日は、以下のとおり。 ・開 設 日：週2回（火・金の予定） ・開設時間：10時00分 - 12時00分 13時00分 - 16時00分 ※ 上記相談窓口開設日以外でも、相談は受け付ける。 また、月1回、コーディネーターを中心に、医療福祉相談室スタッフ等への事例等共有のためのカンファレンスを行う。</p> <p>② 積極的な相談（ネットワークの構築と適切なコーディネート） 医療機関・福祉機関・自助団体・公的機関等の特性（得意分野や受入条件の確認等）を把握し、ネットワークの構築に取り組み、相談者に最適なサービスの提供及び関係機関・関係団体等へのコーディネートを行う。 ・コーディネーターが、連携支援のため、関係機関・関係団体等を訪問する。 ・コーディネーターが、関係機関、関係団体等の情報を収集し、相談窓口、相談受付内容、機能等のリストを作成する。</p> <p>③ 大阪府立精神医療センターにて、入院SMARPPの更なる充実、外来SMARPPのモデルチームの立ち上げを行い、ノウハウの蓄積を進める。</p>
<p>2.精神科医療機関等への助言・指導</p>	<p>【意見】 ① 以下の言葉がわかりにくいので、以下のような感じで変更されてはどうか？ 「スーパーバイズ」⇒（例）技術的助言・指導 ② ②について、「精神科」を追記し、精神保健福祉センターは「等」に含まれると考えられるので、国要綱の表現に合わせてはどうか。</p> <p>【質問】 ① 医療機関・精神保健福祉センター等へのスーパーバイズについて、具体的な派遣要請の事務手続きは？</p>	<p>【対応】 ① 変更して反映。 ② 変更して反映</p> <p>【回答】 ① 要請をして頂ければ、簡易な手続きでの派遣できるように検討中ですが、しかし、派遣体制が充分整備されていないため、体制を整える予定です。</p>	<p>① 精神科医療機関との連携のための検討を行う。 ② 精神科医療機関等からの要請があれば、大阪府立精神医療センターより医師を派遣し、技術的助言・指導等を行う。</p>
<p>3.関係機関（精神保健福祉センター、保健所、市町村、自助団体、福祉事務所、保護観察所、公共職業安定所等）との連携・調整</p>	<p>【質問】 ① 関係機関・団体との連携調整についての評価指標はどうするのか？ 以下提案（外来患者の自助グループへつなげた率、外来患者の自助グループ活用状況、入院時点からの自助グループとの関係（院内茶話会等の試みなど入院時点からの接点を持った人数割合）関係機関との事例のための連携を模索する検討会の開催回数、自助グループとつながっていても再発となっている事例の検討、司法からの早期退所に伴う事例数など・・・）</p>	<p>【回答】 ① 実際に動いた実績について報告書を作成、整理していくのが今年度は限界と考えます。</p>	<p>① 関係機関・自助団体等の相談窓口、相談受付内容、機能等のリストを作成する。（再掲）</p>
<p>4.医療従事者、関係機関職員、依存症当事者及びその家族等に対する研修の実施</p>	<p>【質問】 ① 研修に対する評価については？ 研修内容の研修参加者への研修終了後アンケート実施などでの評価をする予定か？ 同じ内容を続けるのがよいのかなど、研修内容に関する意見も頂きながら、研修内容のグレードを上げていくことも考えておく必要があるのでは？ SMARPP導入医療機関数の把握（依存症治療を実施する医療機関数の増加を把握のため）</p>	<p>【回答】 ① 研修後にアンケートを実施し、集約を行った上で、実施報告を作成します。</p>	<p>① 関係機関職員及び医療機関職員向け研修の実施 （講師：大阪府立精神医療センター 藤田 治）</p>
<p>5.依存症当事者及びその家族、地域住民等への普及啓発</p>			<p>① 薬物・アルコール・ギャンブル等の依存症に関する啓発リーフレットの作成 ② 大阪府立精神医療センターのホームページ上で、依存症等に関する情報の提供 ③ 関係機関・関係団体等が実施する講習会・講演会等の広報への協力</p>
<p>6.協議会の運営</p>			<p>第1回協議会を開催 協議内容：事業計画の策定・事業指標の設定等 第2回協議会を開催予定 協議内容：事業効果の検証・課題抽出と提言</p>
<p>7.協議会で定めた指標に必要な数値等の集計・整理 （医療機関に入院及び通院中の薬物依存症者に対する当事者支援専門プログラムの試行実施の実績、効果、課題等について集約、検討を含む）</p>	<p>資料 3 参照</p>	<p>資料 3 参照</p>	<p>資料 3 参照</p>
<p>8.その他依存症対策に必要な事項</p>			<p>① 大阪府立精神医療センターのホームページで当該事業の報告等 ② 報道機関への情報提供及び対応 ③ 厚生労働省・大阪府・全国拠点機関への提言</p>